

バリアフリー経路探索機能の公開について

(国土交通省政策統括官付)

バリアフリー経路探索ができる機能を試験的に作成し、公開しました。この機能は、一般的な経路探索サービスのような目的地までの最短経路の探索だけでなく、利用者の希望するバリア条件を考慮したバリアフリー経路も探索することもできます。

また、対象エリア内にあるバリア情報（段差、幅員など）を地図上に表示させることもできますので、バリアフリーマップの作成など様々な用途が考えられます。

この機能は、平成 22 年度に一部の地域で試験的に取得した、歩道の段差等のバリア情報を含んだデータ（歩行空間ネットワークデータ）を利用することで実現できたものです。なお、同じホームページからこの機能で利用した歩行空間ネットワークデータをダウンロードすることも可能です。

今回の公開を通じて、歩行空間ネットワークデータやその利用例を知って頂くことで、データ活用の可能性を拡大するとともに、各地で独自にデータ整備が促進され、バリアフリー環境の構築に資することを期待しています。

【今回公開したバリアフリー経路探索】	
【設定できる条件】 <ul style="list-style-type: none">・出発地・目的地・バリア条件(段差、幅員、勾配、路面状況、階段使用の可否、エレベータ使用の可否)	
探索結果の例	○バリア条件(階段を使用しない)を設定して上野駅(浅草口)から台東区役所に行く場合  設定したバリア条件(階段を使用しない)により、遠回りとなるがエレベータを利用する経路を表示。   現地の様子 (エレベータ利用)
	○一般的な経路探索(最短経路)で上野駅(浅草口)から台東区役所に行く場合  目的地までの最短経路(階段を利用する経路)を表示。   現地の様子 (階段利用)

○記者発表の URL : http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo23_hh_000028.html